

蕨 広報WARABI 4

2013/平成25年
わらび・741

- 平成25年4月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 3月1日現在人口：72,102人 前月比 -67人
男 36,685人 女 35,417人
世帯数：35,349
人口密度：14,137人/km²



ルート内
の主な
見どころ
スポット



三学院



歴史民俗資料館分館



南町桜並木遊歩道



河鍋曉齋記念美術館



ぽかぽか陽気に誘われて 蕨の名所をサイクリング

埼玉県が選定した「自転車みどころスポットを巡るルート100」。その1つに、蕨の歴史に触れる「南部まちなめぐりルート」があります。学生ボランティア「waravvico」の石塚里欧さん(左)と若葉由美さんがそのルートを初体験。春の陽光の下、まちの魅力を満喫しました。

目次

- 特集：新年度予算……………2
- 特集：空き店舗有効活用事業…10
- レポートそこが知りたい…12
- 蕨いま むかし……………12
- 親と子のニュースの小窓…14
- 子どもクラブ……………15
- 輝いてます ひと……………16
- 中仙道蕨宿400周年……………16

平成25年度予算概要と 市民1人当たりの予算



元気いっぱいの園児たちのように新年度もスタートします

春の訪れとともに、平成25年度がスタートしました。そこで、今月は2ページから9ページにわたって、新年度予算と事業をご紹介します。まず、ここ2ページから3ページでは、予算の概要と一般会計予算を市民1人当たりに換算してご説明します。

**一般会計は1.6%増の
213億6000万円**

市では、今年度も市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに向け、さまざまな仕事をしていきます。こうした仕事をする上でどんな仕事にどれだけのお金を使うかを決めたものが「予算」です。

予算は、市民の皆さんの生活に関係の深い「一般会計」と、国民健康保険や公共下水道会計など、決められた1つの事業だけを経理する「特別会計」、病院や水道のように事業を独立採算制で行っている「企業会計」の3つがあります。一般会計の予算額(3ページ上段表)は、213億6000万円の前年度比1.6%増となりました。市に入るお金「歳入」の主なものは、約50%を占める市税収入で、景気の動向などを踏まえて、前年度より2億円増の107億円を見込むほか、地方交付税は前年と同額を見積もっています。

一方、使われるお金「歳出」では、わらび公園地下の雨水調整池整備が24年度のほぼ完了し、工事費が減ることから、公共下水道事業特別会計繰出金への減額や市債の元利償還金の減額などを見込む一方、社会保障関連経費の伸びをはじめ、民間認可保育園の新設に伴う運営委託経費や公民館の耐震診断経費などにより、増額となっています。

更に新年度は、国の経済対策などの補助金を活用して、平成24年度補正予算と一体で編成し、学校体育館の耐震化と大規模改修や消防救急無線のデジタル化、錦町地区の区画整理事業を前倒しで計上し、進めていきます。

**市全体の予算総額は
約418億2319万円**

特別会計は、全部で6つの会計があり、予算総額は15%減の160億1300万円。また、病院と水道の企業会計は、前年度比23%増の44億5019万1000円です。

この結果、全会計を合わせた歳市全体の予算総額は、前年度に比べ0.5%増の418億2319万1000円となりました。

民生費 141,733円	歳出総額 1人当たり 296,181円	市民1人が使われる市のお金	軽自動車税 399円	市たばこ税 8,181円	都市計画税 13,850円	固定資産税 57,036円	市民税 68,902円	市税総額 1人当たり 148,368円	市民1人が負担する税金
									

平成25年度一般会計：213億6000万円

(歳入)

単位=千円 (歳出)

単位=千円

科目	本年度	前年度	比較	市民1人 当たり(円)	1世帯 当たり(円)
市 税	10,700,000	10,500,000	200,000	148,368	302,790
地方譲与税	120,000	120,000	0	1,664	3,396
利子割交付金	20,000	20,000	0	277	566
配当割交付金	20,000	15,000	5,000	277	566
株式等譲渡所得割交付金	2,000	2,000	0	28	56
地方消費税交付金	570,000	550,000	20,000	7,904	16,130
自動車取得税交付金	40,000	35,000	5,000	555	1,132
地方特例交付金	50,000	48,000	2,000	693	1,415
地方交付税	1,600,000	1,600,000	0	22,186	45,277
交通安全対策特別交付金	10,000	10,000	0	139	283
分担金及び負担金	228,844	202,768	26,076	3,173	6,476
手数料及び料数	256,713	255,261	1,452	3,559	7,264
国庫支出金	3,567,228	3,418,908	148,320	49,464	100,946
県支出金	917,287	922,277	△4,990	12,719	25,957
財産収入	82,903	84,304	△1,401	1,149	2,346
寄附金	200	200	0	3	6
繰入金	967,295	1,020,909	△53,614	13,413	27,373
繰越金	150,000	150,000	0	2,080	4,245
諸収入	807,530	865,373	△57,843	11,197	22,851
市 債	1,250,000	1,200,000	50,000	17,333	35,373
合 計	21,360,000	21,020,000	340,000	296,181	604,448

科目	本年度	前年度	比較	市民1人 当たり(円)	1世帯 当たり(円)
議 会 費	249,214	257,990	△8,776	3,456	7,052
総 務 費	2,601,304	2,302,925	298,379	36,070	73,612
民 生 費	10,221,511	9,735,018	486,493	141,733	289,250
衛 生 費	1,917,608	1,877,611	39,997	26,590	54,265
労 働 費	36,847	36,829	18	511	1,043
農林水産業費	8,528	8,304	224	118	241
商 工 費	241,575	248,832	△7,257	3,350	6,836
土 木 費	2,162,468	2,458,112	△295,644	29,985	61,194
消 防 費	750,986	758,416	△7,430	10,413	21,251
教 育 費	1,825,974	1,881,016	△55,042	25,319	51,672
公 債 費	1,268,400	1,320,646	△52,246	17,588	35,893
諸支出金	45,585	104,301	△58,716	632	1,290
予 備 費	30,000	30,000	0	416	849
合 計	21,360,000	21,020,000	340,000	296,181	604,448

(人口72,118人 世帯35,338/平成25年1月1日現在で計算)

■特別会計

単位=千円、%

会 計 名	本年度	前年度	伸び率
国民健康保険特別会計	7,763,000	7,697,000	0.9
公共下水道事業特別会計	1,952,000	2,441,000	△20.0
錦町土地区画整理事業特別会計	1,327,000	1,314,000	1.0
中央第一土地区画整理事業特別会計	20,000	19,000	5.3
介護保険特別会計	4,167,000	4,023,000	3.6
後期高齢者医療特別会計	784,000	763,000	2.8
合 計	16,013,000	16,257,000	△1.5

■企業会計

単位=千円、%

会 計 名	予算科目	本年度	前年度	伸び率
病院事業会計	収益的支出	3,214,940	3,104,014	3.6
水道事業会計	収益的支出	1,235,251	1,247,545	△1.0
合 計		4,450,191	4,351,559	2.3

■総合計

単位=千円、%

会 計 名	本年度	前年度	伸び率
一 般 会 計	21,360,000	21,020,000	1.6
特 別 会 計	16,013,000	16,257,000	△1.5
企 業 会 計	4,450,191	4,351,559	2.3
合 計	41,823,191	41,628,559	0.5

**市民1人に使われる
お金29万6181円**

一般会計予算を今年1月1日現在の人口、7万2118人を基に、市民1人当たりで計算したのが下の図です。

まず、市民1人が負担する市税の合計は、1人当たり14万8368円で、前年より3582円多くなっています。内訳は、市民の皆さんが所得などに応じて納めていただく市民税が6万8902円、固定資産税が5万7703

6円で、2つ合わせて市の約85%に当たります。一方、市民1人当たりに使われるお金は、29万6181円となります。

主な内訳は、介護や福祉、子育て支援などの事業に使う民生費が最も多く、前年より7496円増の14万1733円、以下、地域コミュニティへの助成や交通安全対策などの事業を行う総務費が3万6070円、道路や公園、下水道の整備などを行う土木費が2万9985円となっています。

その他	諸支出金	商工費	議会費	消防費	公債費	教育費	衛生費	土木費	総務費
労働費 511円									
予備費 416円									
農林水産業費 118円									
	632円	3,350円	3,456円	10,413円	17,588円	25,319円	26,590円	29,985円	36,070円

蕨の明日をつくる

新年度の予算を編成

ここ4ジャーでは、よしかみひで頼高英雄蕨市長に、平成25年度の市政運営や予算編成の考え方などについてお聞きしました。

——昨年度を振り返っていかがでしたか。

市長 学校体育館の耐震化と大規模改修や水道管の耐震化、自主防災組織への支援強化など、防災対策に最重点を置きつつ、小学校に続く中学校全教室へのエアコン整備、認可保育園の増設、75歳以上のぶらっとわらび無料化など、市民の皆さんとお約束した施策を着実にスピーディに形にすることができました。その結果、マニフェストの進捗率は実施済みと着手合わせで、87%となりました。

また、新たに静岡県湖西市との災害時相互応援協定の締結や老朽空き家の安全管理に関する条例の制定、蕨戸田衛生センター焼却炉の余剰発電を
利用しての電力の地産地消の取り組みを開始させるなど、独自施策による
安全安心のまちづくりも
推進することができました。

——新年度はどのように市政を進められますか。

市長 4つの基本方針で進めます。1つ目は蕨のまちの3つのビジョン実現に向けた重点事業に取り組みること、2つ目は第4次蕨市総合振興計画の最終年度に当たり、総仕上げを行うとともに、蕨の未来を見据えた(仮称)「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを策定すること、3つ目は市民の皆さんとの協働によるまちづくり

を更に推進し、地域の絆を深め、ふるさと蕨づくりを進めること、4つ目は引き続き、市政の健全化に取り組むことです。

また、蕨駅開設120周年記念事業を積極的に支援し、地域の活性化につなげていきます。

第3の、「子どもと老年寄り、障害者に優しいまち」では、平成27年4月の開設に向け、市内3か所目の特別養護老人ホームの整備を市内企業との協働により進めます。

更に、障害者グループホームの整備や子どもたちの自主的な学習活動をサポートする、「わらび学校土曜塾」を開始します。

——最後に、新年度の市政運営に取り込む決意をお聞かせください。

市長 市民の皆さんの安全安心を最優先に考え、災害に強いまちづくりを進めるとともに、日本一のコンパクトシティ蕨の良さを生かし、市民の皆さんとの絆をいっそう深め、ふるさと蕨の更なる発展のために全力を尽くしていきます。

平成25年度の市政運営と予算は『広報蕨・増刊号』頼高市長の施政方針表明でご紹介しています。併せてご一読ください。



新年度予算と市政運営を語る頼高市長

制度利用者の声

ご来店をお待ちしています

地元での出店を後押ししてくれたこの制度。開店から1年4か月、少しずつ常連のお客様も増えてきました。安心・安全をモットーに、旬の素材・食材・調味料を吟味し、日替わりでサンドイッチやおにぎり、独自レシピのマフィンなどのスイーツを提供しています。これからもより多くの人に来ていただけるよう、取り組んでいきたいと思ひます。



caféポワン 代表
おやまじゅんいち
尾山 純一 さん



ボリューム満点のサンドイッチはソースもオリジナル

caféポワン

平日 午前11時～午後4時半
※月・金はおにぎり、火・水・木はサンドイッチ
北町 2-9-22 ☎434・2272



空き店舗
有効活用事業

特集：にぎわいと活力ある街へ



After

制度を利用して
一昨年11月に
オープンした、
caféポワン



Before

かつては空き店舗だったのが...

にぎわいと活力ある街へ

空き店舗

有効活用事業

まちの魅力を彩る商店街 まち連との協働で支える

近年、周辺地域への大型店の出店や長引く不況の影響で、商店街では、シャッターの下りた店が目立ってきています。商店街は、まちを形作る重要な要素の1つであると同時に、地域コミュニティの基盤となる存在です。例えば、商店街を明るく照らす街路灯は、市でも2分の1を補助していますが、商店街の皆さんがその電気料を負担しています。明るくにぎわいのある商店街は、まちの魅力を高めるとともに、私たちの安全・安心な住環境も支えているのです。市では、日本一コンパクト

なまちの良さを生かし、商店と市民、行政が一体となって、元気な商店街づくりや、より魅力的で生活が楽しめるまちづくりを進めています。

平成23年度から始まった空き店舗有効活用事業補助金制度もその1つです。(社)蔵市にぎわいまちづくり連合会(以下・まち連)と協働で行っているこの制度は、まち連が認定した市内の空き店舗に出店する場合、改装費の2分の1(上限50万円)、広告宣伝費の2分の1(上限10万円)、非営利事業の場合は、更に店舗賃借料の3分の1(1年度80万円が上限。期間は2年度)を補助するというものです。また、制度利用者には、地域の商店

市とまち連が協働で行っている、「空き店舗有効活用事業補助金制度」。元気な商店街づくりへ平成23年度から実施している取り組みです。新年度が始まる今月は、その概要をご紹介します。

商店街と利用者の橋渡し役

空き店舗有効活用事業補助金制度は、商店の連続性ににぎわいの創出を目的に、起業という新たなチャレンジをする人の、ちょっと背中を押してあげる制度です。これまでに、制度を利用して4件の出店につながりましたが、よりよい制度に向け、利用者の声を反映しながら、これからも商店街と出店希望者のニーズをつなぐ橋渡しになればと思います。



(社)蔵市にぎわいまちづくり連合会
施設運営・都市開発委員会 委員長
ぬくい けんじ
貫井 賢治 さん



市民が主役のコミュニティレストランぶらっとで起業体験をしてみませんか(中央3丁目)

街に加入してもらうなど、商店街の衰退に歯止めをかける取り組みにもなっています。これまでに飲食店や葬祭コンサルティング業、介護事業など、4店舗の開業につながり、成果を上げつつあるこの事業。制度の利用第1号として旧中山道沿いに一昨春秋にオープンした、caféポワン(上段写真)は、「素材のよさを生かした、サンドイッチやおにぎりが低価格で食べられる」と、常連客に人気です。

ぶらっとでの起業体験や個別相談など支援も充実

起業を促し、まちの活性化へとつなげる同事業。起業に踏み出したい人や地域活動に関わってみたい人たちが、安

心してその一歩を踏み出せるように、サポート体制を整えています。

例えば、市とまち連が連携して開設したワンデイシェフレ스토랑ぶらっとでは、誰でも日替わりオーナーシェフとして、材料の仕込みや客の流れをつかむといった経験が積めます。これまで15以上の団体が参加し、バラエティ豊かな食を通じて、世代や地域を越えた交流が深められるなど、商店街の活性化にも一役買っている同施設。実際に出店者のなかには、ここでの経験をステップに、飲食店を開業した人もいます。

ほかにも、市では、起業に向けての個別相談が無料でできるなど、補助金による支援だけでなく、フォロー体制の充実を図っています。

皆さんの輝きがまちの活性化へつながる、空き店舗有効活用事業。市では、今後もまち連との連携を深めながら、にぎわいと活力あるまちづくりを更に進めていきます。

※詳しくはまち連のホームページ (<http://www.warabine.jp/~machiren/>) でご確認ください

まち連が認定している 空き店舗一覧 (平成25年3月現在)

認定の対象は、商店街からご紹介いただいた空き店舗です。各物件の問い合わせは、不動産会社へ

所在地：中央1-35-3 問 (株)あすま不動産 ☎432・5300	所在地：中央1-3-4 蔵名店街ビル1F 問 (株)藤井不動産 ☎431・4087
所在地：中央1-3-4 蔵名店街ビル1F 問 (有)アイケイホーム ☎433・4121	所在地：中央6-4-55 問 (株)藤井不動産 ☎431・4087

昨年は延べ380人が参加



レポート そこが知りたい

〈88〉

タウンミーティングにぜひご参加を

市では例年、市民の皆さんと市長が直接対話し、意見交換をする場として、「市長タウンミーティング」を開催しています。今年も、4月13日から20日までの間に全5回実施します。この機会に、皆さんの貴重なご意見をお聴かせください。

場の1つとして、市では平成20年度から、「市長タウンミーティング」を開催しています。今年も、今月13日の西公民館と東公民館を皮切りに、14日は南公民館と北町公民館、20日には中央公民館と、市内各地区で、計5回実施します(左下囲み参照)。

皆さんの声を生かし よりよいまちづくり

実際に、皆さんからお寄せいただいた声によって改善が図られた事例をいくつか紹介します。

①夜になると暗くて危険な場所があると指摘を受け、町会などからの意

見も参考にしながら、LED防犯灯を設置していきます(下囲み参照)。

②防災行政無線の放送内容が聞き取れないとの指摘を受け、市ホームページに内容を掲載することとしたほか、今年度は、市内全域で難聴地域調査を実施する予定です。

③学校のトイレが古く、破損や汚れ、においが気になるとの指摘のほか、

現場からも同様の意見があったため、今年度、小学校のトイレを改修する予定です。

皆さんからの声によって明るいまちに

タウンミーティングでの意見や町会からの要望などを基に、LED防犯灯の設置も明るくなりました(写真は中央7丁目)。



炭 いま むかし

- 316 -

二中から放送された
NHKのど自慢

語る人



かほこ 金子由記子さん
中央5丁目・58歳

昔の写真は、昭和42年8月6日に、第二中学校体育館で行われた、「NHKのど自慢」の様子です。当時、二中の1年生だった私は、自分たちが通う学校でのど自慢が見れると聞いて、同級生と心躍らせたものです。当日は、たしか台風一過でとても暑い日でした。もちろん会場は超満員。熱気に包まれた体育館で、拍手の練習をしたり、合格の鐘が鳴ったらみんな喜んでりと、心から楽しんでだひとときでした。

生放送だった上にビデオもない時代だったので、映像を見ていないのが唯一の心残りですが、当時の炭を全国にPRできた

市内各地区5会場 市長と語る会を開催

誰もが住んでよかったと思える魅力あふれるまちづくりには、市民と行政が一体となって、地域の課題や将来について考え、話し合うことが欠かせません。

愛する炭をより暮らしやすいまちにしたい。そんな皆さんの願いを直接市長にお伝えいただく

市の方向性を説明後 直接意見を伺います

タウンミーティングでは、まず、皆さんに市政のことを知っていただくために、「平成25年度の施策・予算について」をテーマに、炭市の取り組みについて、市長より説明します。後半は、質疑応答の時間です。例年、市の財政や税金などについての質問から、高齢者の見守りや公園への要望まで、多岐にわたる貴重

市長タウンミーティング



市長が市民の皆さんとじっくりお話しする機会を設けます。平成25年度の炭市の施策・予算をテーマに、市政のホットなニュースをお知らせします！炭のまちづくりへあなたのご意見をぜひお聞かせください。

開催日時・場所

4月13日(土)	午後2時~3時半	西公民館
4月13日(土)	午後7時~8時半	東公民館
4月14日(日)	午前10時半~正午	南公民館
4月14日(日)	午後2時~3時半	北町公民館
4月20日(土)	午後2時~3時半	中央公民館

託児・手話通訳あり(託児は政策企画室に要事前申し込み)

問い合わせ 政策企画室
(☎433・7698)



情報ダイヤル

掲載は無料です
 図秘書広報課 (☎433・7703)

〔見に来ませんか〕

▶わらびオペラ合唱団第2回公演「オペレッタ メリー・ウイドウ」 21日 午後2時 市民会館 1,000円<瀬田石・☎443・6344>

〔仲間になりませんか〕

▶ヨーガでさわやか 月3回日曜日 午前9時 中央公民館 月1,500円<根津・☎443・1656>

▶南町三和棋友会(将棋) 月~土曜日 午後1時 交流プラザさくら 年4回南公民館で大会あり(次回は21日の午後1時) 年1,500円<杉山・☎442・7726>

▶スプリット(社交ダンス) 第2・3金曜日 午後7時 福祉・児童センター 月2,000円<石塚・☎433・5275>

▶南バドミントンクラブ 水曜日=午後5時半 土曜日=午後2時半 南小学校 月1,000円<上田・☎445・8782>

▶しいの実パソコンクラブ 月3回金曜日 午後1時半 中央公民館 月2,000円<吉川・☎444・7930>

▶南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料<井上・☎442・0259>

▶蕨北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 北小学校 月1,500~2,000円(未就学児は年間1,000円) 年中~小学生<小泉・☎090・4948・5936>

▶楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>

〔参加しませんか〕

▶復興支援海産物販売 蕨市民公園桜まつり(6日・7日)で宮城県石巻市の海産物などを直売<さくらプロジェクト・齋川・☎090・4546・8414>

▶太極拳祭(初心者講習会) 6日・13日・20日 午後2時 長泉院 無料<浅賀・☎431・7125>

▶100歳まで元気でイキイキ健康セミナー 5月26日 午前9時半 市民会館 300円<平田・☎444・2222>

▶中国音楽鑑賞会 第3日曜日 午後2時 庵洞・香巴拉(蕨駅東口徒歩3分) 500円<安藤・☎442・3543>

▶ダンスパーティー 11日・20日・25日 午後1時 文化ホールくるる 499円<犬塚・☎441・7373>

まちの話題

地域の学習活動に大きく貢献している施設として、文部科学省から平成24年度優良公民館に表彰された西公民館。その記念事業が3月3日、同館で開かれ、脚本家・池端俊策さんによる講演や二重奏楽部の演奏などで催しは大盛況。訪れた300人でお祝いました。

市内のスポーツ振興を目的に、3月10日、市民体育館で「スポーツフェア」が開かれ、500人が参加しました。スポーツの分野の功労者や成績優秀者への表彰のほか、直径122cmの巨大なボールを使う「ニュースポーツ」キンプール」を楽しみむなど、触れ合いを深めました。

3月14日、北町児童館で「おおきくなつたね会」が開かれました。参加した親子29組は、手遊びや踊りなどを楽しんだほか、育児に奮闘するママたちには同館から花がプレゼント。最後は手作りのカードに手形と足形を取り、我が子の成長を感じながら1年を振り返りました。

市内で活動する音楽団体が一堂に会する「第26回わらび春のコンサート」が3月17日、市民会館で開かれました。合唱をはじめ、吹奏楽やギター、ハーモニカの演奏など、10団体が日頃の練習の成果を披露。406人が訪れ、ホールを包む美しい春の調べを楽しみました。

3月23日と24日の2日間、南公民館を主会場に、「桜のまち南町文化展」が開かれました。催しは、蕨にゆかりのある画家や地域のかたの作品展示のほか、ライブ、喫茶コーナーなど盛りだくさん。見頃を迎えた桜のなか訪れた1200人は、芸術・文化への関心を高めました。

地域で西公民館を祝福



ニュースポーツで交流



親子で成長感じる催し



春の訪れ感じる音楽会



文化の桜咲き誇る催し



催しだったと思います。今の写真は、NHKラジオ「ふるさと自慢」の公開録音(3月8日・市民会館)の様子です。今回も、地域の皆さんが全国に向けて蕨の魅力が十分に披露したそうです。
 放送 5月11日(土) 午後4時5分 ラジオ第一

23日は「子ども読書の日」

みんなで本に親しみ 健やかな成長を

言葉や知識を学び、感性や創造力を養う読書は、子どもの豊かな成長にとって欠かすことはできません。今月の23日は「子ども読書の日」。図書館では子ども向けの催しも開催されます。ぜひこの機会に、親子で読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



本を開けば自然と笑顔が広がります

親と子の ニュースの 小窓

読書の機会や環境整備し「身近な本」に

ワラビ すごい。図書館には本がいっぱいある。

職員 こんにちは。

ワラビ 今日は絵本を借りにきました。ここには

何冊の本があるの？

職員 蔵書数は分館（塚越、錦町、北町）を含めて、およそ18万冊。そのうち

の約3分の1は子ども向けの本になっています。

お母さん 児童書が充実しているんですね。

職員 読書は、言葉を学び、考える力や創造力を

養うなど、子どもが健やかに成長する上で、とてもたいせつですからね。

特に力を入れていきます。

お母さん 最近は「読書離れ」という言葉も聞きますし、身近に本がある

のはありがたいですね。

職員 市では、子どもが

催しがいっぱい図書館ぜひご利用を

お母さん 図書館でも毎月、子ども向けの催しが

開かれていますね。

職員 はい。皆さんに本を大好きになってもらお

本に親しみ、少しでも興味や関心が持てるよう、乳幼児の4か月健診時に絵本をお渡しするブック

スタート事業や児童館への図書コーナーの設置など、本と接する機会や環

境の整備を進めています。

お母さん 小・中学校では、朝読書などにも取り組んでいそうですね。

職員 はい。各校で読書を習慣づける活動が行わ

れています。また、市内全小・中学校では、平成23年

度から学校図書の充足率が100%になりました。

お母さん 本がより身近な存在となっていますね。

職員 昨年の6月には、「蔵市子ども読書活動推進計画」も策定され、こ

うした取り組みが更に進められています。

うと、ボランティアグループによるお話しや読み聞かせを行っています。

ワラビ 僕も大好き。

職員 それに今月は催し

が盛りだくさんなんです。ワラビ なにがあるの？

職員 13日と14日は、毎年好評の「リサイクル本フェア」、20日には、子ども読書の日イベント「本だ

いすき!!」(詳細はお知らせ版10ページ)を開催します。

お母さん どの催しも子どもが楽しめそうですね。

職員 20日の催しでは、「蔵てんとうむしの会」による読み聞かせやおすす

めの本を紹介する「ブックトーク」なども行われます。ワラビ 友達といっしょ

に来てみようかな。

職員 更に、23日の「子ども読書の日」は、中学生以下の子は、本10冊、紙芝居

8組まで借りられますので、ぜひご利用ください。

お母さん ワラビもたくさん本が読めそうですね。

ワラビ うん。借りる本を決めておかないとちや!!



「ケセラランパサラン」による読み聞かせ(3月23日・図書館)

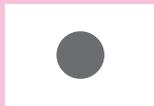
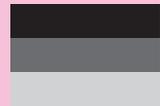


言葉の壁を乗り越え育む友情

国際青少年キャンプ

Inリンデン 参加者募集

派遣期間 = 7月26日 ~ 8月6日



友好都市ドイツ・リンデン市で開催される国際青少年キャンプに参加するほか、市民宅にホームステイをし、言葉の壁を越えた心の交流を図ります。

● **青少年募集** / おおむね14~17歳の市内在住者で、事前研修(5回程度)や報告会、市の国際交流事業に参加・協力できる人 ※これまでに市主催の同キャンプ(海外派遣)に参加したことがある人は申し込み不可 費用 9万円 選考 書類・面接 申し込み 24日まで 所定の申込書を秘書広報課へ持参(申し込み時に面接日時を決定)。※申込書は学校、公民館、同課または市ホームページで入手できます。

● **国際交流事業実行委員会委員の募集** / 蕨市の国際交流事業に興味のあるかた、いっしょに活動しませんか。活動内容 国際青少年キャンプや国際交流会の企画・運営 職業 年齢は問いません。皆さんの幅広いアイデアをお寄せください。申し込み・問い合わせ 秘書広報課(☎433・7701)



子どもクラブ 北町児童館

器用に積まれたトイレットペーパーの芯と段ボール。どこにでもある不用品が、北町児童館では遊び道具に変身します。「身近な物で子どもたちが楽しめれば」と児童館の先生が考案したところ、思わぬ大ヒット。上手に積むと背丈以上にもなるこの遊びは、名付けてスカイツリーです。時間を計って高さを競ったり、芯を横にして重ねてみたりと、子どもたちは自由な発想で楽しめます。タワーが揺れる度には「むむ子どもたちの声」。日も館内には明るい声が響きます。

わが家のアイドル

「幹大(右)が生まれてから卓実(左)は、お兄さんらしくなりました。最近、どこへでもハイハイする幹大。その姿を気に掛け、危ないと感じると、『あつ、かんたが!』といちもくさんに駆け寄ってくれます。幹大もそんなお兄ちゃんが大好き。朝起きると真っ先に卓実の下へ向かい、寝ているその頬にうれしそうに触れています。目が覚めると顔を見合わせてにっこり。これからも二人仲よく元気に育ってほしいです」と母親の加奈さん。

たくみ **卓実ちゃん** (5歳)

かんた **幹大ちゃん** (9か月)

いしはら **石原** さとる **悟さん**
か **加奈さん**
長男・二男
中央7丁目

-492-

かるた DE アンチエイジング

蕨市立病院 柴田 優子 医師

体のだるさの元。24年11月号で「活性酸素」の功罪をご紹介しますが、私は酸化ストレス①

加物など活性酸素を大量に発生させ体をさびさせる要因に囲まれています。次号で関連する病気と予防についてお話しします。

健康増進(アンチエイジング)外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページで

によって活性酸素が発生します。これが過剰になると体が酸化(さび)され、栄養を取り込んだり老廃物を排泄したりする働きが阻害されます。こうした細胞が増えていくことが老化の進行となります。日々、紫外線、たばこ、アルコール、大気汚染、食品添加物など活性酸素を大量に発生させ体をさびさせる要因に囲まれています。次号で関連する病気と予防についてお話しします。

県ジュニア新体操選手権大会個人総合3位

ひと 深井 瑠水 さん

より高い舞台上で自分を表現したい



美しい軌道を描く得意種目のリボン

輝いています

華

麗にリボンを操り、13歳四方のフロアマットを縦横無尽に舞う。繊細かつ大胆な演技で、見る人を魅了するのは、第二中学校2年生の深井瑠水さん（13歳・錦町5丁目）です。昨年の埼玉県ジュニア新体操選手権大会では、1年生ながら、個人総合でみごと3位に輝きました。

深井さんが新体操に出会ったのは、小学1年生の頃です。市内を中心に活動する県陽ジュニアクラブの練習を見て、その華やかさに心を奪われたそうです。同クラブに入会するとすぐに、その楽しさのとりこに。「もつとうまくなりたい」と、数か月後には一般クラスから選手クラスへとステップアップしました。週5日・1日4時間、厳しい練習に明け暮れる日々ですが、「新体操が好きだから」と、あどけなさの残る笑顔を見せてくれました。

そんな深井さんのいちばんの武器は抜群の身体能力です。迫力のある演技を支える体のばねの強さ、更に持久力の面でも蔵市民ロードレース大会の大会記録を誇るなど、その能力の高さは折り紙付きです。指導する島山淑江コーチも、「手先も器用で素質じゅうぶんと、太鼓判を押しします。」

昨年、ジュニア選手権で好成绩を取った深井さんですが、同時に苦い経験もしています。県大会に続く関東大会の3日前、練習中に右足親指を骨折し、棄権を余儀なくされたのです。悔しさと練習すらできないもどかしさに打ちひしがれましたが、「次こそは全国へ」と、決意を新たにしました。

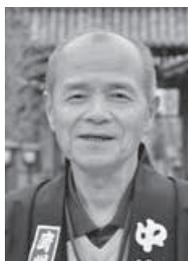
最近では、課題である体の硬さの克服に向けてのストレッチや、より美しいスタイルを求めて食生活の改善に取り組むなど、飽くなき向上心を持って自らと向き合う深井さん。「新体操は自分を表現できる場所」と語るその瞳には、全国の舞台上で躍動する自身の姿が映し出されているようです。

中仙道蔵宿

400周年

次世代の襷

No.12



記念事業400周年開設蔵宿特別委員会委員長 岡田正臣

3月24日午後3時、日本橋。午前8時に三学院をたつた最終グループがゴールしたとき、会場は温かい拍手に包まれました。最年少7歳から最高齢84歳まで89人が参加した、記念事業のトリを飾る「チャレンジWalk中山道」は、約7時間かけて全員が完歩するという偉業。ゴールの瞬間、蔵宿開設400周年記念事業特別委員会の岡田正臣委員長に、万感の思いが込み上げます。

「400年の節目に、縁あって蔵宿のかじ取りを担った私たちは、記念事業を行うに当たっ



記念事業のゴールは次世代へのスタート

て「次世代の襷」をテーマに掲げました。この襷には2つの思いがこめられています。1つは駅伝の襷、もう1つは襷掛けの襷です。前者は悠久の時を経て受け継がれてきたこの襷を、次の走者へ引き渡すこと。後者は地域と行政の2つの力が襷掛けのように交差し合いながら、魅力ある現代の宿場へと発展することを願いました。記念事業を振り返ると、「わらじろう」の着ぐるみ製作や記念碑の建立は、蔵宿の発展の象徴として、未来へと引き継がれていくでしょうし、チャレンジWalkに多くの人が参加してくれたことは、次世代への希望です。市や観光協会をはじめ、皆さんのご協力に感謝するとともに、この節目の年が、より魅力ある蔵宿への飛躍の年となることを願ってやみません。